横浜市　支援メニュー　②

管路の更新計画と配水管理

ご提案内容

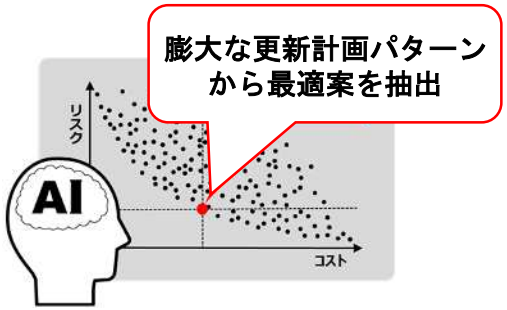
管路の更新計画や配水管理について、これまでの取組、考え方や新たな試みをご紹介します。

横浜市水道局では、

【管路の更新計画】

減少する水需要に合わせて、管路の更新時に口径を縮径するほか、２本の管路を１本にすることで適切な施設規模へのダウンサイジングを進めています。

また、ＤＸの各種取組を「横浜水道ＤＸの取組」としてとりまとめ、「ＡＩを活用した最適な管路の更新計画策定」、「衛星画像を活用した漏水探知」及び「クラウド型IoTによる遠隔での漏水監視」について試行的に導入を進めています。



「ＡＩを活用した最適な管路の更新計画策定」イメージ

【配水管理】

横浜市は、高低差のある地域が混在しており、一定の圧力で市内全域に水を送ることは困難であることから、市内を複数の区域に分割し給水する「配水ブロックシステム」を導入しています。また、配水ブロック間を口径の大きな管路で結ぶことで、バックアップ体制の強化を図っています。

横浜市水道局

【内容】

1　管路のダウンサイジングの取組

管口径のダウンサイジング事例紹介

・流速係数Ｃ値の検討

・消火栓の設置口径の検討

2　管路の更新計画策定（ＡＩ活用を含む）

更新計画策定にむけて整理が必要な事項紹介

・管路の重要度評価

・管路の地震被害予測

・ＡＩ活用における検討状況の紹介

3　配水ブロックシステムによる配水管理

・配水ブロックシステムの概要

・配水ブロック間のバックアップ事例の紹介

【支援方法】

1　説明及び質疑応答

当局職員が貴事業体に伺い（もしくは当局にお越しいただき）、事業の概要をご説明します。

ご希望に応じて質疑応答の時間も設けます。（所要時間の目安：30分～１時間半程度。ご要望に合わせて調整可能です。）

2　資料提供

ご希望の内容に応じた資料をご提供します。

ご要望に沿った内容で実施いたします。まずはご相談ください。



（問い合わせ先）
首都圏水道事業体支援プラットフォーム事務局
東京都水道局多摩水道改革推進本部調整部　経営改善課国内貢献施策推進担当
ＴＥＬ　：　042-548-5361
メール　：　S0812906@section.metro.tokyo.jp　ホームページ：https://www.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/suidojigyo/torikumi/shien/

横浜市水道局